

研究計画概要

助成年度・種別	2024年度 一般研究助成
研究代表者	都島 梨紗
所属	岡山大学学術研究院社会文化科学学域
研究テーマ	脱工業化社会における地域コミュニティと若者の社会的包摂の実態に関する社会学的研究
研究計画概要	<p>本研究の目的は、地方都市の地域コミュニティにおける、若者の社会的包摂に関わる取り組みを調査し、犯罪・非行をはじめとする若者の逸脱行為を予防する地域コミュニティの在り方について理論化を目指すことにある。</p> <p>本研究では、質的研究アプローチを取り、3か所の地方都市を対象に、①どの層の若者において「戦後型青年期」は生き長らえており、②不安定層に対する社会的包摂はいかなる状況であり、③不安定層へのコミュニティの取り組みはいかなるものであるか、を明らかにする。3都市は工業都市として栄えた歴史のある都市や祭りを基盤とする地域コミュニティが存続する都市を選定している。助成期間中は地方3都市における丹念なフィールド調査を少なくとも各2回以上行う。加えて、地域で見落とされる若者の調査にあたり、本研究では豊富な研究者との連携をもち、代表者一人では決してアクセスできない多様な層への調査の実現を目指す。</p> <p>本研究では、これまで十分に取り上げられてこなかった若者文化に根差した地域コミュニティを取り上げることにより、既存の若者の「排除と包摂」論に対してオルタナティブな地域コミュニティの可能性と課題を示すことができる。</p>
選考委員からのコメント	<p>この研究は、地方都市の地域コミュニティにおいて、排除と包摂の狭間を生きる若者たちを捉え、コミュニティによる若者の社会的包摂に関わる取組を調査し、若者の逸脱行為を予防する地域コミュニティのあり方について、理論化を試みるものである。3つの地方都市を対象に、質的研究を実施する。例外的に生産的な若手研究者を組織している点に最大のメリットが認められる。研究の準備状況も良好である。既存の「排除と包摂」論に対してオルタナティブな地域コミュニティの可能性と課題が示されることを期待したい。</p>